農業委員会だより

農業委員会では、荒れた農地をなくしたり、農業に関わって頑張っている人を支え、安心安全な食材を提供したりするお手伝いをしています。また、農地についての相談窓口でもあります。農地のことで困ったことや相談したいことがある人は、事務局かお近くの農業委員にご相談ください。

問農業委員会事務局
☎ 63-1459

農業委員の改選を行いました

ことし7月、農業委員の改選を行い、新しい体制で農業委員会がスタートしました。

新たに耕作放棄地チーム、農地チーム、農業振興チームを立ち上げ、耕作放棄地の解消、農地の利用集積、農業者年金・農業新聞の普及を推進していきます。

●新農業委員名簿

地区	名前	行政区	地区	名前	行政区
荒尾	山中 一知	荒尾	府本	内田 浩明	府本
	福田榮一	荒尾		成徳親幸	樺
有明	古城義郎	蔵満		前田實	金山
清里	隅倉柾一	牛水	八幡	北村芳敬	菰屋
	徳山孝介	牛水		田上愼一	菰屋
平井	山川英昭	平山		西田庫士	野原
	濱崎仁道	上井手		菰田正也	川登
府本	濱崎英利	府本		上田清史	川登

耕作放棄地解消で全国表彰

農業者・地域・農業委員などが連携し、42haの耕作放棄地を解消したことが評価され、ことし5月、全国耕作放棄地発生解消・防止活動表彰を受けました。今後も耕作放棄地の解消に向け、取り組んでいきます。

▶北村副会長、前畑市長、古城会長。（左から）

農業者年金に加入しませんか

農業者年金は国民年金の第1号被保険者である農業者※がより豊かな老後生活を過ごすことができるように国民年金（基礎年金）に上乗せした公的な年金制度です。掛け金の全額（最大で年額80万4千円）が社会保険料控除を受けられるなどのメリットがあります。

※①60歳未満で年間60日以上農業に従事する人。
②①と同じ条件で働く配偶者や後継者。

農地を相続したら届出が必要です

農地を持っていた人が亡くなり、その農地を相続をした人は、農業委員会への届出が必要です。

荒れている農地はありませんか

「先祖から受けついだ農地を持っているが管理ができない」など、農地が荒れて困っている人はいませんか。

農業委員会では、「農地貸借カード」を導入しています。農地を借りたい人、貸したい人はご利用ください。

●設置場所
JAたまな荒尾市総合支所
JAたまな荒尾支所
市役所農業委員会事務局

あなたの土地は農地ではありませんか

農地に家を建てたり、駐車場などに使ったり、別の目的で使うことを農地転用といいます。農地は自分の土地であっても自由に転用することはできません。土地によって基準があり、転用できるものが限られている場合があります。納税通知書の課税地目（毎年5月ごろ送付。）や登記簿謄本の登記地目などをご確認ください。

全国農業新聞を読みませんか

全国農業新聞は農業委員会組織が発行する農業総合専門誌です。最新の農政情報を分かり易く解説し、担い手の経営にも役立つ情報や農業関連イベントなど話題が盛りだくさんです。

男性がいきいきと活躍できる社会を目指して 男性にとっての男女共同参画

男女共同参画社会とは、いろいろな生き方を尊重し、全ての人があらゆる場面で活躍できる社会のことです。つまり、女性だけでなく、男性にとっても暮らしやすい社会のことです。

男女共同参画社会の実現に向け、大きな障がいの一つになっているのが「固定的性別役割分担意識」です。これは、私たちの意識の中に長い時間をかけて形づくられてきたもので、時代と共に変わりつつありますが、今も依然として根強く残っています。固定的性別役割分担意識は女性のみならず、男性自身にとっても重荷になっていると言われています。

問人権啓発課男女共同参画推進室
☎ 63-1139

子育ての現場

子育てを楽しんだり、料理を趣味にしたり、家事を積極的に行う男性が増えています。しかし、女性に比べ、男性は長時間労働が多く、家庭で過ごす時間が少ないため、家事や育児に費やす時間は世界的に見ても最低水準となっています。

育児休業を取得したいと思いながらも、周りの理解が得られなかったり、自身の金銭面・仕事面での不安から取得できなかったりする男性がたくさんいます。

介護の現場

家族形態の変化、高齢世帯の増加や共働き世帯の増加などのため、男性の介護者が増えています。しかし、男性が介護者となることで、さまざまな問題が起きています。男性は家事に不慣れな人が多いため、女性の介護者に比べて苦労が多かったり、その苦労や悩みを誰にも相談できず、ストレスをため込んでしまったりする傾向があるのです。

上記のような背景には、男性自身の意識の中に「一家を経済的に支えるのは男性の役割」「男は弱音を吐くべきではない」などの固定的性別役割分担意識が見られる場合があります。「男はこうあるべき」という考え方が、家庭・職場・地域などさまざまな分野へ男性が進出する妨げとなっていることもあります。まずは男性自身の「男性に対する固定的性別役割分担意識」を解消するため、自分自身への重すぎるプレッシャーを減らして、より暮らしやすくなる社会への第一歩を踏み出してみませんか？